

# オオバエゴノキ

か めい  
科名 エゴノキ

べつ めい  
別名 コウトウエゴノキ

がくめい  
学名 *Styrax japonica* var. *kotoensis*.



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶん  
分 布 い ずしやとう わ か やまけん おおしま おきなわ たいわん  
伊豆諸島、和歌山県大島、沖縄、台湾、  
フィリピン

は かたち  
葉 の 形 らんけい  
卵形

は ふち  
葉 の 縁 ぜんえん きよし  
全縁、鋸歯

は さき  
葉 の 先 えいけい  
鋭形

は しゆるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい  
葉 の 付方 互生

は き ふ がた  
葉 の 基部 くさび形

み しゆるい かくか  
実 の 種類 核果

は な がくいろ しろいろ  
花・萼色 白色

せつ 説  
めい 明  
やま たにま おお せいいく たか らくよう しょうこうぼく みきはだ なめ  
山の谷間に多く生育し、高さ7-8mの落葉の小高木で幹の肌は滑らかです。オオバエゴ  
ノキは、エゴノキ（は なが 4-8 cm、はば 2-4 cm）より葉が大きくなっています。実は円錐形  
で長さ1 cm程度、灰白色をしています。種はサポニンを含み毒があります。